



創る

ほうとう完食！ このあとの給食は完食できたのか・・・

令和6年

10月22日(第16号)

学校長 村松 章史



学校を応援してくださる皆さんと共に

学校・家庭・地域連携推進協議会 体験学習部

10月10日 ほうとうづくり

「学校・家庭・地域連携推進協議会」(以下：学地連 第10号参照)の体験学習部が



主催し、10月10日に「ほうとうづくり」を実施しました。2年生の家庭科の授業とも連携し、郷土食の学習として学びを深めました。地域から19名の皆さんが講師として参加していただき、麵を作るところから指導していただきました。発足して30年以上の歴史ある学地連、この「ほうとうづくり」も10年以上継続した取組となっています。ほうとうを

作りみんなで食べる過程の中で、地域の方と交流し、応援してくださる皆さんの存在を大変心強く感じました。地域の皆さんからも、たくさん声をかけていただき、また褒めてい

ただき、生徒も楽しい時間を過ごすことができました。(18日付けの山梨日日新聞にも掲載されています。市川三郷町の広報にも掲載していただく予定です。)

いのちは奇跡、そしてあたたかい

10月11日 思春期体験学習(赤ちゃん抱っこ体験)



10月11日、3年生を対象に思春期体験学習を行いました。これは峡南教育事務所が主催し峡南地域全ての中学校で行われている取組で、①生命誕生のしくみを知り、いのちの大切さへの意識を高める。②親になることの意味と責任を考える。③支え合いの中で子どもを育てることを考える。これらをねらいとしています。当日は、午前中に町の子育て支援課の保健師や助産師の方からの講義を受けたり、妊婦体験をしたりしながら学習を深め、赤ちゃんとのふれあい体験に備えました。午後には、赤ちゃんとそのお母さん8組を招き、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、お母さんに質問したりしながら、いのちの重みや温かさを実感しました。恐る恐る抱っこする生徒、泣いた赤ちゃんをあやすのに緊張する生徒、ドキドキの場面もありましたが、3年生全員が穏やかな笑顔で赤ちゃんとお過ごしていたのがとても印象的でした。きっと自分自身も

たくさんの人に守られながら大きくなってきたことを感じ、実際に親になったときのことを想像してくれたことと思います。

